

様式第1

動物実験審査請求書

平成 年 月 日

三重中央医療センター病院長 殿

申請者

所属

氏名

印

1. 課題名			
2. 動物名		3. 頭数	
4. 実験期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
5. 実験場所			

動物実験計画書

1. 研究者

所 属	職 名	氏 名

2. 動物実験の概要（具体的に箇条書きに記入のこと。）

(目的)

(方法)

3. 実験動物の代替について	動物実験以外の方法又は他の動物で代替できない理由を記入すること。
4. 実験動物の数について	使用する動物数の妥当性・必要性を記入すること。
5. 特別な実験・手術について (例えば、無麻酔で行う手術等について)	① 実施する ② 実施しない
(実施する場合には、その理由を記入し、それが正当なものであることを示すことのできる文献を上げること。)	
6. 薬物、病原体について	① 使用する ② 使用しない
(使用する場合には、人体・他の生物に対する安全性及び実験後の処理法等を記入すること。)	

7. 動物実験の実施中、終了後の実験動物の取扱いについて

(1) 実験動物に対する処置（苦痛の除去法、薬剤投与方法、採血法等を詳細に記入すること。）

(2) 実験終了後の実験動物の処置（保存、貯蔵、焼却等を記入すること。）

8. 当該動物実験の倫理性に関する自己評価採点について次葉の評価表の各項目ごとに、1から5のいずれか該当するものに○印をつけ、○印を付した数字の合計を下表の区分に従って記入すること。

①各項目はそれぞれ5群あるが、点数が大きい程、倫理性に問題がある。

②各評価項目のA及びBは、動物実験計画の妥当性に関するスコア（scientific scores）であり、C、D、E、F、G、H、及びIは、被験動物の選択、取扱い等の動物福祉に直接に関係するスコア（animal scores）である。

Scientific Scores	A+B	点	合計 点
Animal Scores	C~I	点	

当該動物実験の倫理性に関する自己評価表

1.

(次のAからIまでの各評価項目ごとに1群から5群のうち、該当するものに○をつけること。)

A. 実験の目的

1. ヒトまたは動物における強度の苦痛の軽減に関するもの
2. ヒトまたは動物における中等度の苦痛の軽減に関するもの
3. ヒトまたは動物における健康、福祉に明らかに貢献するもの
4. ヒトまたは動物における健康、福祉に何らかの貢献をするもの
5. 知見を得るための基礎的研究（ヒトまたは動物の苦痛の軽減や福祉には明瞭な関係を認めないもの）

B. 目的達成に関する研究計画の妥当性、有効性

1. きわめて秀れている
2. かなり優れている
3. 普通
4. ある程度目的を達成しうる
5. わずかしか目的を達成できない、或いはやってみなければわからない

C. 実験動物の種類

1. 無脊椎動物
2. 魚類、両棲類
3. 爬虫類
4. 鳥類、5群以外の哺乳類
5. 食肉類、鯨類、霊長類

D. 実験動物に与える苦痛（慢性実験では術後の苦痛も含む）

1. なし
2. 軽微
3. 中等度
4. かなり強い
5. きわめて強い

E. 実験動物に与える苦痛（不快も含む）の持続時間

1. 0もしくはきわめて短時間（100 ms）
2. 短い（～1秒）
3. 中程度（～1分）
4. 長い（～10分）
5. 非常に長い（10分を越える）

F. 実験期間

1. きわめて短い（寿命の1万分の1以下）
2. 短い（寿命の500分の1以下）
3. 中等度（寿命の50分の1以下）
4. 長い（寿命の5分の1以下）
5. きわめて長い（寿命の5万分の1を越えるもの）

G. 動物数

1. 1～ 5
2. 6～ 10
3. 11～ 20
4. 21～100
5. 101以上

H. 飼育状況（術後管理も含む）

1. 秀れている
2. 良好
3. 平均的
4. 可
5. 劣る

I. 実験計画の代替性

1. 当該動物以外では代替できない
2. C項分類で1ランク下等の動物で代替できる
3. C項分類で2ランク下等の動物で代替できる
4. C項分類で3ランク以上下等の動物で代替できる
5. 動物実験以外の方法（コンピューターシミュレーション、*in vitro*実験等）で代替できる。

様式3

誓 約 書

平成 年 月 日

三重中央医療センター病院長 殿

誓約者

所 属

職 名

氏 名

課題名

上記の動物実験の実施にあたっては、三重中央医療センター臨床研究部動物実験指針を遵守し、この動物実験計画書のとおり実験すること及び研究分担者にこのことを徹底させることを誓約します。

様式第4

審査結果通知書

平成 年 月 日

(申請者) 殿

三重中央医療センター病院長

課題名

貴殿から申請のあった上記動物実験計画を平成 年 月 日の委員会で審査し、下記のとおり判定したので通知します。

判定	1 承認	2 条件付承認	3 不承認
理由			

注：承認の場合は、理由欄は記載しない。

動物実験審査に係る申合せ

この申合せは、三重中央医療センター動物実験倫理・審査等委員会規程第2条に定めるところにより客観的かつ迅速に審査を行うために定めるものである。

1. 審査等委員会委員長は、動物実験を実施しようとする者から提出された動物実験審査請求書、動物実験計画書の記載内容及び下記2に示す点数評価結果を総合し、当該動物実験の合理性及び倫理性について予備審査を行うものとする。
2. 倫理性の審査については付表「動物実験の倫理性に関する点数評価システム」に基づき各評価項目の各群の番号を、そのまま点数として取扱い、全評価項目にわたる点数の合計により動物実験計画の倫理性を評価する。
3. 審査等委員会委員長の予備審査において、倫理性の評価に関し、動物実験計画の妥当性に関するスコア（Scientific scores、A+B）の許容される範囲は7点以下、被験動物の選択、取扱い等の動物福祉に関するスコア（Animal scores、C～I）が24点以下と判定され、実験計画が妥当と判断される動物実験計画の審査は、委員長の決裁により承認できるものとする。また、予備審査で、倫理性評価の許容範囲を越えるか、実験計画の妥当性を欠くと判定される動物実験計画の審査は審査等委員会で行うものとする。
4. 審査結果に基づく判定は、次の各号に掲げるいずれかによるものとする。ただし、条件付き承認又は不承認の場合はその条件又は不承認の理由を審査結果通知書に記載するものとする。
 - ①承認（実験計画どおり実施を認める場合）
 - ②条件付き承認（実験計画の変更を必要とする場合）
 - ③不承認（実験を認めない場合）
5. 審査等委員会の承認を受けた動物実験の実施期間の延長については、「動物実験期間延長願」の受理をもって、期間の延長を認めるものとする。ただし、実験計画の変更による期間の延長については、改めて審査請求の手続きを求めるものとする。

付記

この申合せは、平成16年4月1日より実施する。

A. 実験の目的

1. ヒトまたは動物における強度の苦痛の軽減に関するもの
2. ヒトまたは動物における中等度の苦痛の軽減に関するもの
3. ヒトまたは動物における健康、福祉に明らかに貢献するもの
4. ヒトまたは動物における健康、福祉に何らかの貢献をするもの
5. 知見を得るための基礎的研究（ヒトまたは動物の苦痛の軽減や福祉には明瞭な関係を認めないもの）

B. 目的達成に関する研究計画の妥当性、有効性

1. きわめて秀れている
2. かなり優れている
3. 普通
4. ある程度目的を達成しうる
5. 僅かしか目的を達成できない、或いはやってみなければわからない

C. 実験動物の種類

1. 無脊椎動物
2. 魚類、両棲類
3. 爬虫類
4. 鳥類、5群以外の哺乳類
5. 食肉類、鯨類、霊長類

D. 実験動物に与える苦痛（慢性実験では術後の苦痛も含む）

1. なし
2. 軽微
3. 中等度
4. かなり強い
5. きわめて強い

E. 実験動物に与える苦痛（不快も含む）の持続時間期間

1. 0もしくはきわめて短時間（100 ms）
2. 短い（～1秒）
3. 中等度（～1分）
4. 長い（～10分）
5. 非常に長い（10分を越える）

F. 実験期間

1. きわめて短い（寿命の1万分の1以下）
2. 短い（寿命の500分の1以下）
3. 中等度（寿命の50分の1以下）
4. 長い（寿命の5分の1以下）
5. きわめて長い（寿命の5万分の1を越えるもの）

G. 動物数

1. 1～ 5
2. 6～ 10
3. 11～ 20
4. 21～100
5. 101以上

H. 飼育状況（術後管理も含む）

1. 秀れている
2. 良好
3. 平均的
4. 可
5. 劣る

I. 実験計画の代替性

1. 当該動物以外では代替できない
2. C項分類で1ランク下等の動物で代替できる
3. C項分類で2ランク下等の動物で代替できる
4. C項分類で3ランク以上下等の動物で代替できる
5. 動物実験以外の方法（コンピューターシミュレーション、*in vitro*実験等）で代替できる。